

- 当社は、2024年度放出計画の第5回として、測定・確認用設備タンク（A群）ALPS処理水（約7,800m³）の海洋放出を、9月26日午前11時59分から実施しています。
- 放出期間中は、ALPS処理水（トリチウム）の希釈が適切に行われているか毎日確認することを目的に、海水で希釈後の水のトリチウム濃度を分析し、トリチウム濃度が計算上の濃度と同程度であることおよび1,500ベクレル/ℓ未満であることを確認しています。
- また、発電所から3km以内の10地点および発電所正面の10km四方内の4地点においては、海水のトリチウム濃度の分析結果を迅速に得ることを目的に、検出限界値を10ベクレル/ℓ程度に上げた分析を実施し、トリチウム濃度が放出停止判断レベル（700ベクレル/ℓ ※¹ または30ベクレル/ℓ ※²）および調査レベル（350ベクレル/ℓ ※¹ または20ベクレル/ℓ ※²）以下であることを確認しています。

※1 発電所から3km以内の10地点 ※2 発電所正面の10km四方内の4地点

<10月14日までにお知らせ済み>

- 2024年度第5回のALPS処理水海洋放出は、約460m³/日の放出量で安定的に推移し、海水中のトリチウム濃度についても、当社が実施する迅速な分析の結果等から、計画的に安全に行われていることを確認しています。
- 測定・確認用設備タンク（A群）からのALPS処理水の移送が、10月13日午後2時10分に終了し、ALPS処理水移送ラインの配管内に残っている水（ALPS処理水）の、ろ過水による押し流しが、10月14日午前11時59分に終了したことをもって、2024年度第5回のALPS処理水海洋放出が完了しました（総放出水量：7,817m³、トリチウム総量：約2.2兆ベクレル）。
- 引き続き、ALPS処理水の安全な海洋放出を安定的に実施できるよう、緊張感を持って取り組んでまいります。

- 2024年度第4回のALPS処理水海洋放出完了以降、長期的な点検計画に基づき、設備群毎に順次、測定・確認用設備等を点検する計画としています。
- 前回の第4回放出完了後にC群関連設備を点検しており、今回の第5回放出完了後にA群関連設備を点検する計画です。
- また、第6回放出完了後には、B群関連設備と合わせて、共通設備（移送・希釈・放水・取水設備）を点検する計画です。
- なお、測定・確認用設備等は、A群、B群、C群の3群で構成されているため、1群が点検中であっても、他の2群を使用することができ、放出計画や工程に影響はございません。

【参考】2024年度ALPS処理水放出計画（1/2）



- 2024年1月時点における2024年度の放出計画は以下の通り、年間放出回数7回、年間放出水量約54,600m³、年間トリチウム放出量約14兆ベクレルを計画しております。
- 2024年度に日々発生するALPS処理水については、測定・確認用設備への移送等で空となったタンクに受け入れていきます（解体予定のJ9エリア等を除く）。

管理番号※3		移送量※4	二次処理 トリチウム濃度 トリチウム総量	放出時期
24-1-5	K3エリアA/B群（測定・確認用設備 C群に移送） J4エリアL群（測定・確認用設備 C群に移送）	: 約4,510m ³ : 約3,240m ³	: 無 : 18万～20万 ^{ベクレル/リットル} ※5 : 約1.5兆 ^{ベクレル}	4～5月
24-2-6	J4エリアL群（測定・確認用設備 A群に移送） J9エリアA/B群（測定・確認用設備 A群に移送）	: 約2,030m ³ : 約5,710m ³	: 無 : 17万～19万 ^{ベクレル/リットル} ※5 : 約1.4兆 ^{ベクレル}	5～6月
24-3-7	J9エリアA/B群（測定・確認用設備 B群に移送） K1エリアC/D群（測定・確認用設備 B群に移送）	: 約1,800m ³ : 約5,980m ³	: 無 : 16万～18万 ^{ベクレル/リットル} ※5 : 約1.3兆 ^{ベクレル}	6～7月
24-4-8	K1エリアC/D群（測定・確認用設備 C群に移送） G4南エリアC群（測定・確認用設備 C群に移送）	: 約4,730m ³ : 約3,060m ³	: 無 : 16万～31万 ^{ベクレル/リットル} ※5 : 約1.7兆 ^{ベクレル}	7～8月

[C群関連設備点検](#)

次スライドへ

※3 管理番号は年度-年度毎の放出回数-通算放出回数の順で数を並べたもの。「24-1-5」は24年度第1回放出かつ通算第5回放出を表す

※4 下線部は実績値を示す

※5 タンク群平均、2024年4月1日時点までの減衰を考慮した評価値

【参考】2024年度ALPS処理水放出計画（2/2）



前スライドより

管理番号※3		移送量※4		放出時期
24-5-9	G4南エリアC群（測定・確認用設備 A群に移送）	: 約6,780m ³ : 約1,000m ³	二次処理 : 無	8~9月
	G4南エリアA群（測定・確認用設備 A群に移送）		トリチウム濃度 : 30万~35万ベクレル/リットル ※5 トリチウム総量 : 約2.4兆ベクレル	
A群関連設備点検				
24-6-10	G4南エリアA群（測定・確認用設備 B群に移送）	: 約7,770m ³	二次処理 : 無 トリチウム濃度 : 34万~35万ベクレル/リットル ※5 トリチウム総量 : 約2.7兆ベクレル	9~10月
点検停止（測定・確認用設備 B群タンクの本格点検含む）				
24-7-11	G4南エリアA群（測定・確認用設備 C群に移送）	: 約 800 m ³ : 約7,000m ³	二次処理 : 無	2~3月
	G4南エリアB群（測定・確認用設備 C群に移送）		トリチウム濃度 : 34万~40万ベクレル/リットル ※5 トリチウム総量 : 約3.0兆ベクレル	

➡ 2024年度放出トリチウム総量 : 約 **14兆**ベクレル

※3 管理番号は年度-年度毎の放出回数-通算放出回数の順で数を並べたもの。「24-1-5」は24年度第1回放出かつ通算第5回放出を表す

※4 下線部は実績値を示す

※5 タンク群平均、2024年4月1日時点までの減衰を考慮した評価値

【参考】迅速に結果を得る測定のモニタリング計画

- 当社は、2023年8月の放出開始以降、下図に示す枠内の14地点で、迅速に海水中のトリチウム濃度を確認するためのモニタリング（検出限界値10⁶ベクレル/l程度）を実施しております。なお、「放出停止判断レベル（図中記載）」を超えた場合には、海洋への放出を停止します。

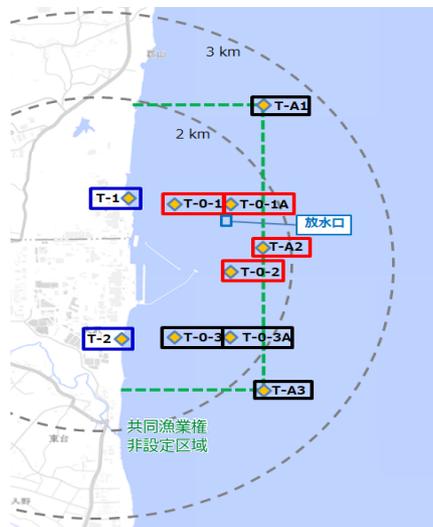


図1 試料採取地点 発電所から3km以内（放水口付近）

□ □ □: 迅速に結果を得るモニタリング対象地点（10地点）
指標（放出停止判断レベル） 700⁶ベクレル/l

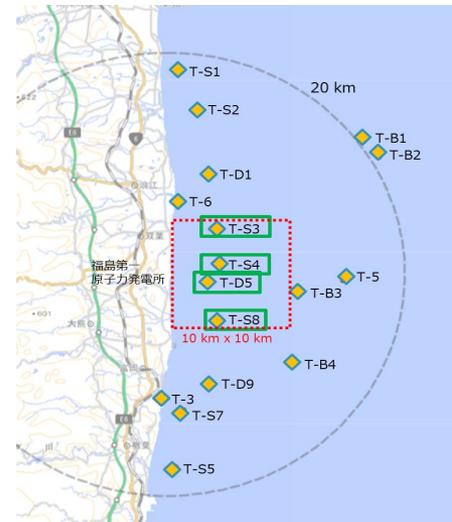


図2 試料採取地点 発電所正面の10km四方内

□ □ □ □: 迅速に結果を得るモニタリング対象地点（4地点）
指標（放出停止判断レベル） 30⁶ベクレル/l

	【図1】発電所から3km以内（放水口付近）		【図2】発電所正面の10km四方内 4地点 □ □ □ □
	放水口周辺4地点 □ □ □ □	その他6地点 □ □ □ □ □ □	
放出期間中および 放出終了日から1週間	毎日 ^{※6}	週2回 ^{※7}	T-D5:毎週 T-S3,T-S4,T-S8 : 月1回
放出停止期間中 (放出終了日から1週間を除く)	週1回 ^{※7}	月1回 ^{※7}	

※6 放出期間中に荒天のため連続して2日間欠測し、翌日（3日目）も欠測が予測される場合には、3日目はT-1、T-2の迅速に結果を得る測定を行います

※7 2023年8月の放出開始以降、毎日モニタリングを実施してきましたが、放出中の実績等を踏まえ、2023年12月26日からモニタリング計画を変更しております
[\(2023年12月25日公表\)](#)